

# クレアは、 自治体国際化のスペシャリストを 育成します。

地域の国際化を推進する共同組織、クレア。  
ここには日々国際化に関する課題やニーズが持ち込まれ、  
その解決のために職員が精力的に働いています。  
クレアでは、こうした環境に自治体職員を派遣いただき、  
多様な業務を経験する機会を提供することで、  
職員の能力の着実な向上を図っています。  
自治体国際化を担う次代のスペシャリスト、  
私たちがしっかり育成します。



Japan Festival (メルボルン) で日本の自治体を  
PRする職員 (シドニー事務所)



展覧会にて中国人参加者へ派遣元自治体の魅力を紹介 (北京事務所)



Japan Parade / Japan Street Fair で  
日本の魅力を PRする職員 (ニューヨーク事務所)



日本文化イベント (エクスペリエンス・ジャパン) で  
来場者からの質問に答える職員 (ロンドン事務所)



現地自治体での実地研修 (バリ事務所)



旅行博で自治体観光 PRを行う職員 (シンガポール事務所)



派遣元自治体を所管国の学生に紹介する職員  
(ソウル事務所)





# 本部・海外事務所で 質の高い研修 を実施

クリアには2年間の本部勤務と、1年間の本部勤務後に2年間の海外事務所勤務を行う2つの派遣形態があります。本部・海外事務所のいずれにおいても、実用的な能力の開発・向上を目指した研修を提供しています。

## 本部研修

主な研修	研修内容	目標・効果
語学力向上研修	語学学校においてプライベートレッスンを実施し、国際人として業務遂行に必要な語学力の向上を図ります。	英語：TOEIC730点 仏語：フランス語能力テストA2レベル 中国語：中国語能力試験4級 韓国語：ハングル能力検定試験4級
海外事務所研修	本部2年目勤務の職員に海外事務所勤務を経験する機会を提供し、実践を通じた国際業務遂行能力の向上を目指します。	国際業務遂行能力の向上
外国語プレゼンテーション研修	外国語プレゼンテーションの実践を通じ、効果的な説明の仕方や、プレゼンテーション後の質疑応答の適切な対処法を学びます。	国際業務を遂行するためのプレゼン技術の向上
国際プロトコール研修	国際業務を遂行する上で不可欠な国際儀礼(プロトコール)についての知識と理解を深めます。	国際プロトコールについての知識の習得
グローバル情報発信研修	国際・国内相互の人や情報の流通、ネットワークの構築に適應できる専門的知識を学ぶとともに、外国人観光客誘致やMICEの誘致・開催の事例から、情報発信の効果的な手順・方法を身につけます。	経済交流を促進するためのノウハウと効果的な情報発信技術の習得
外国人とのコミュニケーション研修	国際業務や外国人とのコミュニケーションに活かすことができるよう「やさしい日本語」を学びます。	共生社会実現に向けた外国人とのコミュニケーション能力の向上
プレゼンテーション技術研修	オーディエンスを惹きつけるための魅力的なプレゼンテーション資料の作成方法やその活用法及びノンバーバルコミュニケーションスキルを身につけます。	国内・海外を問わず通用するプレゼン技術の習得

## 海外事務所研修

主な研修	研修内容	目標・効果
物産展や博覧会への参加	物産展等への出展を希望する自治体等への各種支援等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	自治体支援のノウハウ等の習得
国際的シンポジウムや交流会議の開催	シンポジウム開催に当たっての調整等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	業務推進のためのノウハウ等の習得
各国の地方自治制度、文化や慣習の習得	現地自治体を訪問し、両国地方制度に関する意見交換等を行います。	地方自治制度、各国の特色等の習得
現地大学・国際会議でのプレゼンテーション	担当地域の大学・国際会議において、自治体の政策等について、英語によるプレゼンテーションや意見交換等を行います。(ニューヨーク事務所・シンガポール事務所・シドニー事務所)	プレゼン技術の向上、海外の現状理解
自治体への訪問・インターンシップ研修	各国の地方自治・地方行政への理解を深めるとともに、現地調査等の実践を通じてヒューマンスキル・語学力を磨きます。(訪問研修：ニューヨーク事務所・ロンドン事務所、インターンシップ研修：パリ事務所・シドニー事務所)	各国の自治体政策等に関する理解の向上、コミュニケーションスキル等の向上

クリア本部には、外国籍職員(プログラム・コーディネーター)が在籍しています。様々な国籍の職員と共に仕事をする事で、本部勤務においても国際感覚を養うことができます。



本部勤務者の海外事務所研修

プログラム・コーディネーターとの打合せ(東京本部)



# クレア勤務経験者の声

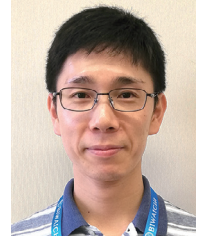
クレアでの本部勤務及び海外事務所勤務を通じて得た様々な経験は、貴重な財産となり、派遣元の自治体に復帰してからも活かされています。

## 魅力発信!滋賀を世界に!

観光や食の海外プロモーションに携わり、魅力発信の必要性を実感しました。例えば、米国で食品展を開催して、食品事業者の販路開拓を支援したほか、同国での旅行博への出展等を通じて日本の魅力を発信しました。帰任後はコロナの影響を受けながらも、海外へのPR機会を虎視眈々と狙っていました。滋賀県は令和5年度にオーストリア・ブルゲンラント州と交流を始めましたが、コロナ禍の時に私自身も交流のきっかけをつかみ、同州へ訪問するなど準備に携わったものであり、交流を通じて滋賀県の認知度を高めることができました。今後もクレアでの経験を活かし、担当する滋賀県のサイクルツーリズムが世界から選ばれるよう、海外発信を続けていきます。



ニューヨークタイムストラベルショーで来場者に書道を体験してもらった様子



滋賀県 商工観光労働部  
観光振興局  
ピワイチ推進室  
大沼 翔司

クレア勤務時の所属

●平成29年4月～30年3月 経済交流課 主査 ●平成30年4月～令和2年3月 ニューヨーク事務所 所長補佐

## 新鮮で濃密な3年間

クレアでの3年間は数えきれないくらいの経験と挑戦が詰まっています。約2,000名のJET参加者が集まるオリエンテーションや英国の自治体向けセミナーの開催などの業務を日本各地のみならず様々な国籍を持つ同僚と一緒に進められたことは、同僚との一体感を得られた最高の思い出です。この経験を通じて、様々な考え方を取り入れる柔軟性や調整力を身につけられたように思います。また、クレアが発行する「ドイツの地方自治」の改訂にあたっては、ドイツ語のウェブサイトでも調査を行うなど、情報収集力を鍛えられました。帰国後は、公園を通じた国際交流業務を担当し、現在は、令和7年度に開催する全国都市緑化ぎふフェアに向けた事業の調整を行うなど、クレアで培った調整力を活かしていると感じています。今後もクレアで築いた人脈を大切にしていきたいと思っています。



レスター市訪問研修時の写真



岐阜県  
都市建設部都市公園・  
交通局 都市公園課  
萩ノ脇 彩子

クレア勤務時の所属

●平成31年4月～令和2年3月 調整課 主査 ●令和2年4月～4年3月 ロンドン事務所 所長補佐

## 実務に直結するスキルを得た国外派遣

クレア東京本部とパリ事務所での勤務を通じ、自立してプロジェクトを遂行する実務力が鍛えられたとともに、日本及びフランス両国の地方行政財政制度に関する知見を得られたことは、貴重な経験でした。現在は、静岡市で「第8回日仏自治体交流会議」の開催準備を進めていますが、パリ事務所で担当した国際会議の運営業務、「フランスの生物多様性政策」に関するクレアレポート執筆、姉妹都市カンヌ市財政部署におけるインターンシップなど、全ての経験が今に役立っています。諸外国の内政や地域の公共政策は、二次資料だけではわからないことも多いですが、実際に外国に暮らしながら、見て、感じて得られた知識やプロトコルのスキルなど、今後の市政に活かしていきたいと思っています。



フランス版自治体幹部交流協力セミナー  
(リモージュ市)アテンドの様子



静岡市  
観光交流文化局  
国際交流課  
岩瀬 穂

クレア勤務時の所属

●平成31年4月～令和2年3月 交流親善課 主査 ●令和2年4月～5年3月 パリ事務所 所長補佐

## 海外勤務で培われた「現場力」

海外勤務を経て培った知識や経験は山ほどありますが、とりわけ身についたと感じるのは「現場力」です。東南アジアの国々で多くの事業を実施しましたが、どれだけ綿密に事前準備をしても、本番で大なり小なり不測の事態が発生します。そして、言葉も文化も異なる環境で緊急事態に対処するのは非常にエネルギーを要します。しかしここで取り乱しても事態は好転しないので、起きたものは仕方ないと割り切ることが非常に重要です。そうすることで、良い意味で物事を単純化でき、冷静に問題解決に向けて動き出せます。当たり前に思えますが、海外赴任という特殊な環境で気付かされたこの教訓が、現在の国際線誘致の職務においても、非常に役立っています。



フィリピン・ヌエバビスカヤ州スタッフとの  
集合写真(専門家派遣事業)



宮崎県  
総合政策部  
総合交通課  
児玉 兼輝

クレア勤務時の所属

●令和2年4月～3年3月 経済交流課 主査 ●令和3年4月～5年3月 シンガポール事務所 所長補佐

## クレア勤務でのさまざまな経験

- 多文化共生のサポート
- 国際交流への貢献
- 海外ネットワークの構築
- 観光客誘致活動
- 日本企業の海外展開支援
- 地域のブランド化
- 異文化コミュニケーション
- 外国語での折衝
- 情報収集・分析
- 自治体の外交戦略の構築

## 地域の国際化に役立つ人材へ

- ① 国際業務のジェネラリストであると同時に、多文化共生、経済交流等の専門領域を持ち、**地域の国際化業務に臨機応変に対応できる高いスキルを習得**
- ② 国際化を通して、地域の活性化に寄与し、**地域ひいては、日本の国際的プレゼンスの向上、共存共栄に貢献**

## 世界が広がる現地での出会い

クレア派遣中の日々は、国際業務に携わったことになかった私にとって非常に新鮮で、得難い経験となりました。慣習が異なる国で現地の方々ややり取りをする実務に就けたこと、韓国語での情報収集や発信の方法を実地で学べたことなど得るものが多く、また大学生等に向けて派遣元である島根県のPRを行う機会をいただいた際は、コロナ後にに向けた反響を感じられ、印象深く記憶に残っています。なにより、職場や仕事で関わった方々はもちろん、同じように駐在員として現地で働く方々やその友人等、業務を越えて出会いに恵まれる好機となりました。地域や業種をまたいで人間関係が広がったことは、帰任後に就いた観光振興の業務にも役立ち、公私ともに糧となっています。



韓国人インターンシップ生と光化門前にて



島根県  
総務部  
財政課  
岡 詩織

### クレア勤務時の所属

●平成30年4月～31年3月 企画調査課 主査 ●平成31年4月～令和3年3月 ソウル事務所 所長補佐

## 人脈を広げて、充実した海外生活

クレアで勤務させていただいた3年間は、人生で一番充実した3年間でした。



災害対策等について学んだインターンシップ

まず、東京本部では多文化共生課で外国人の日本での生活を支える業務を行い、シドニー事務所では、今度は、自分が実際に外国人となって、他国で暮らす経験をしました。異国においての一人暮らしは楽しいことばかりではなく辛いこともありましたが、その中で支えとなったのは人脈でした。幸いにも、インターンシップをはじめ、多くの人と接することができる仕事をさせていただき、また、プライベートでも積極的に友達を作り、人脈を広げたことで、語学力だけでなくたくさんの楽しい思い出を得ることができました。異国で生活する外国人の気持ちを体験させていただいた経験を活かして、今後は、日本に住む外国人に寄り添って、さらに深く支援できればと考えています。



津市 教育総務部  
一志教育事務所  
調整・教育総務担当  
西 浩子

### クレア勤務時の所属

●平成30年4月～31年3月 多文化共生課 主査 ●平成31年4月～令和3年3月 シドニー事務所 所長補佐

## 国際感覚とは、日本と異なる道理を知ること

海外赴任で得たものの1つに、あまり動じない心があげられます。日本と比較すると物事が土壇場で決まりますし、コロナ禍の影響もあり突然の変更も頻発しました。しかし、赴任当初こそ焦りや難しさを感じましたが、帰国する頃にはかなり慣れていました。「相手には相手の、日本とは異なる道理や進め方がある」という実感が持てたのだと思います。振り返ると、これこそが国際感覚であり、海外赴任せずには得られなかった価値だと思っています。(ちなみにこの実感が持てたのは、現地スタッフの皆さんの言語面・慣習面における強力なサポートのおかげです。)現在は、主に輸出の業務に携わっていますが、状況がバタバタと動いても、赴任中のことを思い出して、相手の事情を想像し、なるべく心穏やかに業務に励んでいます。



観光博覧会への出展



青森県  
観光交流推進部  
県産品販売・輸出促進課  
三浦 敬司

### クレア勤務時の所属

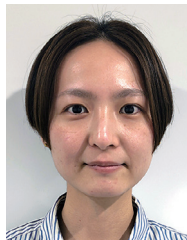
●平成30年4月～31年3月 企画調査課 主査 ●平成31年4月～令和3年3月 北京事務所 所長補佐

## クレアで得た学び

クレアは不思議な組織です。東京本部で働く方の大半は、1年か2年で入れ替わってしまいます。その中で、全国の自治体の国際化推進に向けて最大限力を尽くすことが私たちのミッションでした。全国の国際化施策の情報が集約されるクレアにおいて、各自治体の取り組みや抱える課題を知ることができるのはとても貴重な経験だと感じました。さらには、海外事務所での研修を経て、海外と日本の施策比較という手法を学ぶことができ、自分自身の視野が広がったことを実感しています。今後の業務でも、一自治体を越えた多角的な視点から施策を捉えるように努めていきたいと思っています。



海外事務所ダラム研修の様子



千葉市  
市民局市民自治推進部  
国際交流課  
安里 加菜

### クレア勤務時の所属

●令和4年4月～6年3月 多文化共生課 主査



# 自治体の海外活動最前線で働く

クレアの海外事務所は、自治体が海外で活動する際の後方支援を担う重要な存在です。海外事務所勤務を通じ、グローバルな視点での政策立案能力等を得ることができることから、将来の幹部職員を育成するには最適な環境といえます。

## 各自治体からの要請に基づく海外業務の支援

主な業務内容	目標・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体が海外で業務を行う際の事前調整や現地での同行等のサポート</li> <li>自治体等から照会を受けた海外調査の実施及び回答</li> <li>派遣元自治体の特定ミッションに関して、現地駐在員としての役割を担当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なニーズに応える専門的知識の習得</li> <li>さまざまな業種・地位にある相手との折衝能力の向上</li> </ul>

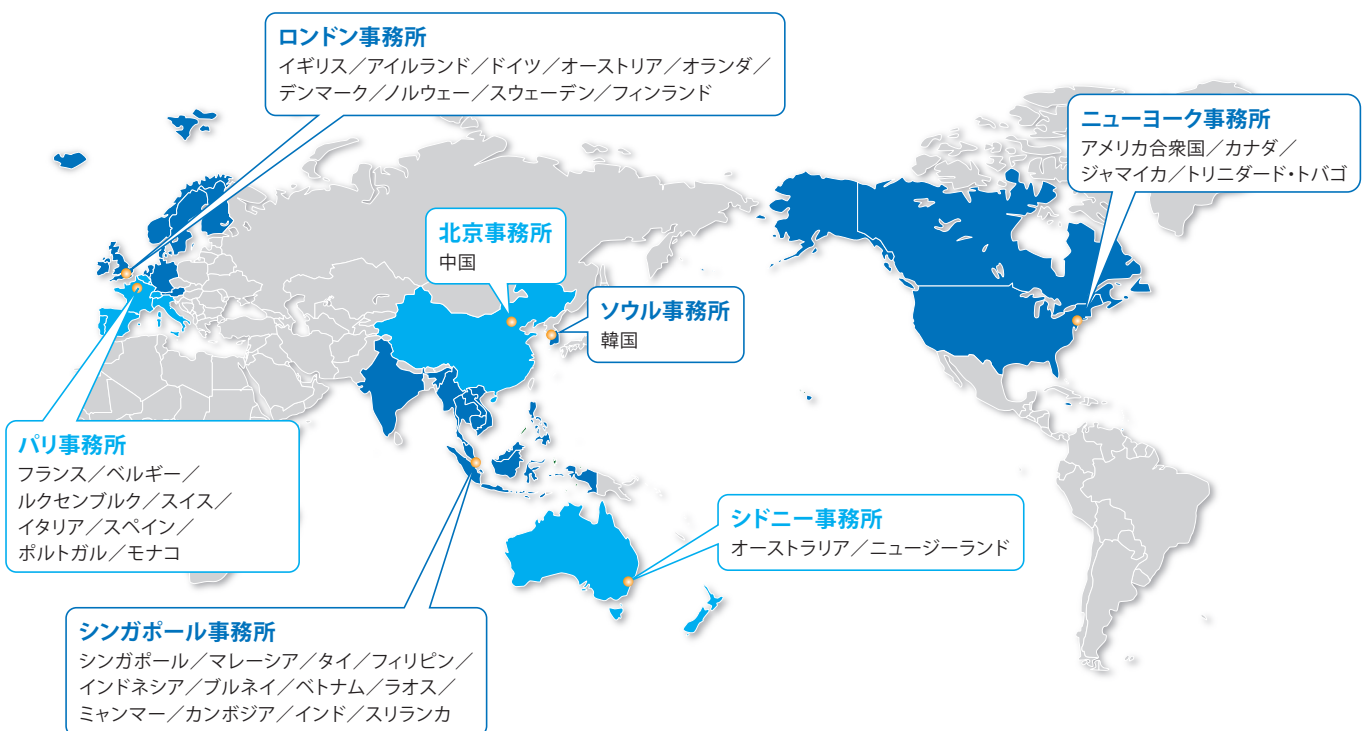
## 特定テーマにかかる調査研究活動

主な業務内容	目標・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国における地方行財政制度、海外自治体の施策等に関する情報収集及び調査研究</li> <li>調査・研究の成果を、「各国の地方自治シリーズ」及び「クレアレポート」として協会ホームページで公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国の制度との比較検討を通じて、日本の地方自治制度に関する理解・考察の深化</li> <li>企画・情報収集・論文作成を通じ、多角的な視点に立った政策立案能力の向上</li> </ul>

## 各海外事務所の事業実施

主な業務内容	目標・効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>各海外事務所がそれぞれの地域で企画する事業の実施(現地展示会への出展等)            ニューヨーク事務所：アニメNYC            ロンドン事務所：ハイパー・ジャパン パリ事務所：サロン・デ・メール            シンガポール事務所：アニメフェア ソウル事務所：日韓交流おまつり            シドニー事務所：日本祭り 北京事務所：ジャパンプランド展 等</li> <li>東京本部が(又は国と共同で)企画・実施する事業の現地サイド業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る企画・調整・運営能力の向上</li> <li>現地自治体との相互理解の促進</li> <li>幅広い人的ネットワークの形成</li> </ul>

## 海外事務所 担当地域



# 募 集 要 項

## ◎ 職員の派遣形態

自治体からクリアに派遣される職員の派遣形態には、本部勤務と海外事務所勤務の2つのパターンがあります。

	期間及び勤務場所	派遣形態	身分	給与	海外赴任中の滞在経費	赴任旅費	出張旅費・研修費用
本部勤務者	2年間 東京本部	派遣法による派遣	派遣元の身分及びクリアの主査等	クリア負担	—	クリア負担(クリア着任時)	クリア負担
海外事務所勤務者	1年間 東京本部 2年間 海外事務所	研修派遣	派遣元の身分及び海外事務所の所長補佐等	派遣元負担	派遣元負担(クリアが派遣元に助成)	派遣元負担	クリア負担

## ◎ 勤務条件

### 本部勤務者

**勤務時間** 9:00～17:45(休憩時間は12:00～13:00)

※時差出勤・在宅勤務制度あり

**休日** 土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

**休暇** 年次有給休暇(20日、繰越可)、夏季休暇、慶弔休暇等

### 海外事務所勤務者

**勤務時間** 所在する地域により異なる

**休日** 土・日曜日、勤務する国の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

**休暇** 年次有給休暇(20日、繰越可)、夏季休暇、慶弔休暇等

## ◎ 福利厚生

健康保険、互助会等の福利厚生は派遣元からそのまま継続されます。財形貯蓄、貸付金等は所定の手続きが必要になる場合がありますので、派遣元及びクリアの担当者にお尋ねください。

## ◎ クリア派遣前の職務経験等

福祉、税、農林水産、土木・建設、観光、商工等、さまざまな職歴を持つ職員が派遣されています。

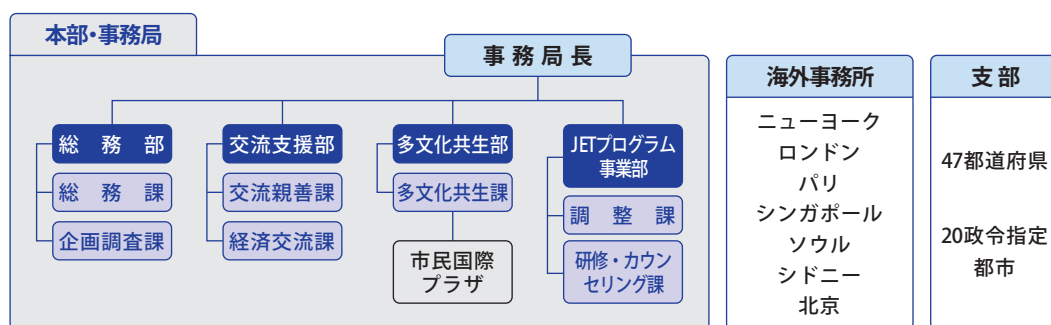
## ◎ 滞在経費助成金

海外事務所派遣期間中にかかる滞在経費について、派遣職員が海外に居住することに伴って増加する経費を対象に、クリアから派遣元団体に対し、海外事務所に応じた額を助成します。(下記限度額を上限として、対象経費の実績に応じて助成)

海外事務所	ニューヨーク	ロンドン	パリ	シンガポール	ソウル	シドニー	北京
助成限度額	495万円	504万円	387万円	423万円	324万円	324万円	342万円

## CLAIR (クリア)とは

一般財団法人 自治体国際化協会 (Council of Local Authorities for International Relations) の略称です。東京に事務局・本部を構え、ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー、北京に海外事務所を設置しています。自治体の海外活動の支援や、諸外国の地域活性化に関する情報収集、さらには日本の地方自治制度を世界へ発信するなど、自治体と世界各国の架け橋として活動しています。



## ◎ お問い合わせ

総務部 総務課

TEL 03-5213-1722 FAX 03-5213-1741

E-mail somu@clair.or.jp



一般財団法人

自治体国際化協会 (CLAIR)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6・7F

<https://www.clair.or.jp>



クリアの事業概要はこちら

<https://www.clair.or.jp/j/clair/docs/pamphlet.pdf>



クリアへ職員を派遣した自治体の声はこちら

<https://www.clair.or.jp/j/forum/forum/articles/index-418.html>